

指定管理業務評価表

施設名	篠岡児童館		
対象年度	24年度	評価担当部	健康福祉部
指定管理者名	特定非営利活動		
指定期間	H23年4月1日～H27年3月31日		
職員体制	常勤職員 4名（兼務1名含む） 臨時職員 12名（兼務2名含む） 合計 16名		

1. 利用実績

(1) 利用者数

月	4	5	6	7	8	9	
人数	3,631	3,978	3,711	4,012	5,094	4,482	
月	10	11	12	1	2	3	合計
人数	3,884	3,597	3,020	2,562	2,907	4,185	45,063

(2) 増減要因

23年度より24年度は利用者が6,102人増加している。増加の理由は、館庭があり庭を利用した遊びを提供した結果、友達や先生と一緒に遊べることにより小学生の利用が増えたと考えられる。また、地域の方に児童館の運営にも携わってもらった結果、地域住民にとって寄りやすい児童館になってきたことが増加の要因と考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	H24.10.6～H24.11.8（共通） H24.11（独自） H25.2（独自）	回答数	50人 36人 20人
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が、こんなにも喜ぶ場所と早くから知っていたら乳児の時にも来たかったです。 ・先生方が、ひとつずつ決まりをよく口にしてみえることで、ようやく規律も守られていくのかな。決まりは決まりで、遊ぶ面では優しく対応して下さっているので、ありがたい。 ・小牧市は子育て支援が充実しているなぁと思う。とても有り難いです。 ・室内にもう少し遊べる遊具がるといいなと思います。 		
具体的な対応状況	子育て支援室のおもちゃを増設し、今後も意見を踏まえながら、対応できるところは対応し継続する。		

3. 収支の実績

(単位：円)

		23年度 (前年決算額)	24年度 (現年決算額)	25年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	23,800,000	24,400,000	23,400,000	年間委託料
	雑入	1,585	652		預金利子
	精算による返還金	△ 857,364	△ 4,727		修繕費・雑入の返還
	合計	22,944,221	24,395,925	23,400,000	
支出	人件費	16,285,999	14,962,645	16,293,402	職員給与
	報償費	150,000	243,200	280,000	講師謝礼
	旅費	11,800	57,040	30,000	交通費・研修参加費
	需用費	2,151,623	2,400,788	2,575,000	児童館活動費等
	役務費	690,612	648,212	675,100	保険料等
	委託費	878,361	934,461	1,006,130	清掃委託・警備委託等
	その他	2,775,826	2,780,645	2,540,368	間接費・使用料等
	合計	22,944,221	22,026,991	23,400,000	
差し引き収支		0	2,368,934	0	

※ 平成 23 年度は指定管理初年度により全額精算

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<p>仕様書、事業計画書に基づき概ね適正に実施されている。</p> <p>また、日常の来館者への対応や行事・イベントが適切に実施され、地域や関係団体との連携した事業展開も見られた。</p> <p>行事・イベントについては、利用者の増加が見られたもの、逆に予定の募集人数に達しなかったものなど結果は様々であったが、児童の健全育成や子育て支援の観点から必要と思われるものは、前年度の結果にとらわれず、実施内容等を精査したうえで継続的に実施していくことを期待する。</p>
維持管理業務	<p>駐車場、敷地内及び館内の日常清掃・定期清掃が実施されており、施設、設備の保守管理（点検や修繕等）についても適切に行われていることは、適正な維持管理として評価できる。</p> <p>また、乳幼児が利用する玩具や部屋などは、口に触れてもよい安全な薬品で定期的に消毒がされており、適正な維持管理として評価できる。</p>
サービスの質	<p>職場内外研修等をとおして職員全体のスキルアップを図り、利用者の満足度の向上に努めているが、今後は、研修の年間計画を作成するなど、研修体制の充実を図ることが望まれる。</p> <p>利用者からの意見・苦情に対しては、概ね適切な対応がとられているため、より快適な施設運営に一層の努力を行っていくことを期待したい。</p>
収支状況 及び 経費節減	<p>最小限の経費の中で効率的に経費が使用されており、概ね計画通りに良好な執行がされていることは、適正な経理実施として評価できる。</p>
その他 (緊急時の対応等)	<p>消防・防災訓練を適正に実施している。</p> <p>危機管理マニュアルが整備、保管されており、ヒヤリハットは情報を全職員で共有し、適切な処置を行っていることは、適正な緊急時の対応等として評価できる。</p>